

【22_210思考系メルマガ】『決める』ことと、検証のコツ

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

今回は、昨日のメルマガの続きで

トレードのやり方を『決める』のと同時に、『決めた方法』に沿って検証母数を集めることの重要性について

言語化していこうと思います。

「検証は大事だってわかってるけど、どうしても手が動かない」とお悩みの人にはその迷いを断ち切って、どんどん動くためのマインドセットが出来ると思います。

□
■ 『自分で決めるトレード』の原型は『決めた方法に沿った検証』から生まれる

まあ、言葉にすると $1+1=2$ みたいなことを言っているようでもあるのですが

いざ実践レベルで『一貫性のあるトレード』を行うというのは

少なくとも、口で言う以上に難しいことなのは間違いありません。

実際、サロン内や僕のグループ内でも相談を受ける内容で割と多いのは

「検証やろうと思うけど、実際チャートを探そうとすると途中で手が止まる」というもの。

なぜ、そこで手が止まってしまうのかを考えるために、いろんな人から話を訊いてみると

「自分がイメージする値動きを、チャートの中から上手く見つけられない」

「最初は探す条件を決めていたのに、ちょっとイレギュラーな動きに目をとられると、そっちが気になって一貫したチャートが集められない」

そんな悩みを多く耳にします。

確かに、チャートを見れば見るほど、細かい所が気になったりするし

当然ながら、見る場所が変わればそれぞれ微妙に異なる動きをしているものなので

そのイレギュラーな動きひとつひとつをピックアップしてしまうと

「はたして、自分は今同じ条件の動きのチャートをちゃんと集められているのか？」と

次第に不安になってきます。

そうして迷っているうちに、だんだん母数を集める検証作業が億劫になってきてしまい

思うように数が集められなくなっていくわけです。

これは、程度の差はありますが、僕自身も過去に経験があります。

ここで一つ考え方を考えてみてほしいのですが

だれしも、最初から完璧に『一貫性のあるチャート』を集めるのは難しいはずです。

スポーツにしろ、勉強にしろ、何事も最初は失敗しながら練習することが必要で

チャートの検証も似たような側面があります。

最初に集めたチャートは、あとで見ると「なんでこんな所見てたんだろ」なんてことも多いですが、取り組み始めた時はそんなもんです。

後になってそうだと分かるようになるということは

その分自分の『チャートを見る目が肥えてきている』わけですから、それは技量が上がっていることの裏返しです。

ここでひとつ、最近サロン内で型の検証をやり始めた方のコメントを、一部抜粋してご紹介します。

冒頭に、『MA収縮+3波』のチャートを探す上で超具体的なヒントが載っていますが

オマケで掲載しておきますね(笑)

▼あるサロンメンバーの報告▼

https://kuro-gaki.com/muhai_saisoku/others/2022-07-28.png

この中でコメントされているように

最初は細かいポイントが目についたり、迷ってチャートが探しにくかったりすることはあります。それは誰でもそうです。

それでも、最初に『決めた事』を優先して、余計なことを考えずに数稽古を繰り返す意識で過去チャートを沢山観てください。

圧倒的に数をこなすことで、次第に自分の見方・思考のクセなども見えてくるので

逆に自分が「迷うポイント」なども言語化出来るようになってきます。

検証と、そこから得られるフィードバックを行き来することによって

徐々にその検証したルールのイメージ(解像度・精度)がくっきりしてくるので

フォワードテストをする段階になるころには、迷いの少ない状態トレードが出来るようになってきます。

あとはそこから負けたり、それでも迷ったトレードの結果を振り返り、ルールの修正・改良を繰り返していけば

ある時から利益がしっかり残るトレードルールに進化していきます。

こういった地道な努力の積み重ねによって、トレードはギャンブル性の高いものから

戦略的な『運用』へと変わっていきます。

ぜひともこの意識の変化を、これを読んでいる皆さんに体感してほしいと思っています。